

生活訓練班再開について

令和2年度より休止していましたが生活訓練事業を、令和4年2月より再開いたしました。

生活訓練は、障害のある方が地域において、自分らしく、自分の力で暮らす力(社会生活力)を身につけることを目的とした訓練です。生活を安定させることは働くことの基礎となります。食事づくりや買い物、軽作業、SST(社会生活技能訓練)を取り入れたコミュニケーション力、地域活動などの様々な支援プログラムやスタッフによる個別の支援、他の利用者の方々とのかわりを通して、利用者さんの目標達成のお手伝いをいたします。見学・相談など、お気軽にお問い合わせ下さい。(戸村)

退職者の紹介

今年度の退職者は

- ・沼田 章
- ・秋山 佳則
- ・小谷 恵美
- ・高原 謙二
- ・四宮 千穂

の5名です。お世話になりました。



新規ボランティア登録状況

新型コロナウイルスの影響で、ボランティアさんとの交流が少ない寂しい1年でした。来年度こそ、ボランティアさんと過ごす楽しい時間が戻ってくることを利用者さん、職員一同願っています。

みどり園では、児童課・成人課・地域生活支援課でボランティアを常時募集しています。ご興味のある方、いつでもお問い合わせください。

(佐野)

研修案内

今年度の研修につきましては、直前での中止や延期を決定し、受講者の皆様をはじめ、所属事業所の皆様には大変御迷惑をおかけ致しました。御理解と御協力をいただきまして、ありがとうございました。令和4年度の各種法定研修開催時期(予定)につきましては、近日中にホームページ上に公開します。必要な研修のお申し込み忘れがありませんよう、計画的な受講をお願い致します。

(溝内)

苦情解決処理状況

(令和3年11月1日～令和4年1月31日) 苦情受付件数 0件 (水永)

編集後記

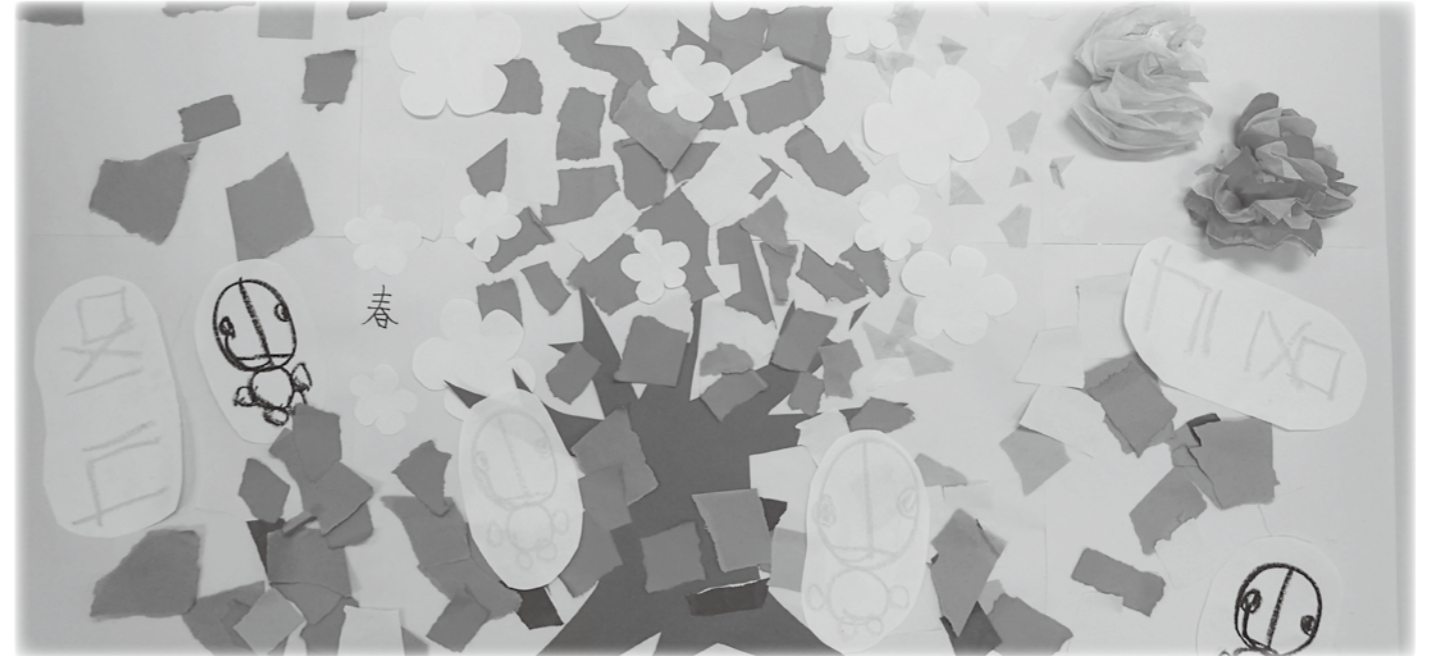
今年の冬も感染対策をとり、我慢することが多かったですが、無事に春を迎えることができました。大変な状況が続いていますが、来年度も元気に楽しく過ごされている利用者さんの姿や、みどり園の活動の様子をお伝えできればと思います。(太田)

<編集・発行>
香川県立川部みどり園
〒761-8046 高松市川部町 418
TEL(代)087-885-8600
E-mail:midorien@pref.kagawa.lg.jp
<https://www.pref.kagawa.lg.jp/midorien/index.html>



第63号

題字 沼田 章



「カリメロの春」:南棟作成

「目的と手段」

妻の仕事と私の仕事は似て非なるもの。そのため妻が仕事のことで相談してきて的かな答えはできない。それどころか「例えばこんな方法はどうか」と答えるものなら「何を考えているのか」と怒られる始末だ。そこで妻の愚痴を聞くという形態に変わるのだが、それでも口を差し挟みたいことがよくある。その時に私はこう言う。

「その目的は何か」と。目的さえしっかり決めていればどんな手段を使おうとも、ゴールに向かってブレは生じない。仕事がおかしくなるのは、手段が目的化している場合が多い。利用者が楽しむイベントを企画しても、計画が進むにつれイベントをすることが目的となることは少なくない。どんなにしたら観客に受けるか、見栄えがよくなるか、そんなことを考えていくと利用者がしんどくなるイベントになりかねない。利用者が楽しむイベントのはずが、主役は他にでき、利用者はただ置いてきぼりのお客さん。

これはルールにも言える。何かの目的を持ってその実現のための手段として作られたルールが、いつのまにかルールを守ることが目的になってしまうことは多々ある。ルールを定めた時の目的がしっかり記録されていれば、状況や環境の変化でルールを柔軟に変えることができるかもしれない。逆も然り。目的がわかっているならば、ルールを変えない方が良い場合もある。いずれも目的は何か、それでどのような手段を取るのかを考えれば間違いは減らせる。もちろん目的を変えていく必要もあるかもしれない。

「この目的は何か」それを呟くことで、自分が何をすべきか、道が見えるはずだ。目的を達成するためには色々な方法があり、様々な手段がとれる。どんな道を経ても、最後に当初の目的を達成すれば良いのだ。妻の愚痴を聞くたびにその言葉を繰り返し伝えている。

ところで、私は麦芽から作られる飲み物の素晴らしさを世に広める目的のために、新しく試飲したものの情報をSNSにアップしている。それ故その飲み物を嫌々ながら飲むという手段を使わざるを得ない。医者から飲む量を控えるように言われても、娘からその腹はなんとかしないと責められても、崇高な目的遂行のために努力し頑張らなければならぬ。賢明な読者諸氏はもうお分かりであろう、ここでどんなに美辞麗句を並べても、私はビールを飲むという手段を目的にすり変えていることを。

(園長 沼田 章)



冬の行事



北棟

新しい年を迎え、北棟の児童はそれぞれ冬休みの外出としてお買い物や初詣に行きました。みんな冬休みのお出かけをとても楽しみにしており、寒さに負けず、とっても元気にお出かけ当日を迎えることができました!! 日もしっかりと上着を着て、寒さ対策万全でお出かけしました。初詣組は、おみくじを引いてみたり、2月に受験を控えた児童は合格祈願したりと各々楽しく過ごしました。お買い物組は、好きなおやつを棚から選び、カゴに入れ、レジまで持っていき、お会計もばっちりです!! 自分で買ったおやつは格別のように、おいしくいただきました。(藤本)



西棟

コロナ感染拡大で身動きのとり辛い昨今。げんきいっぱい西棟っちは動きたくて常にウズウズウズウズ…。息抜きに堂山登山へ出かけました♪雪がちらつく寒い日でしたが1合目、2合目…の目印を励みに登りました。頂上ではみどり園を発見して喜び。差し出す手に野鳥がとまるのを見て感激。甘味を食べてゆったり。体もポカポカ。久しぶりの解放時間を楽しむことができました♪標高304メートルの堂山は子どもたちにはゆる～い筋活でしたが運動不足の大人には良いリハビリとなりました。手にとまる野鳥を激写できなかったことが無念。。冬恒例の行事候補になりそうです☆(安藤)



東棟

今年、東棟(A班)のクリスマスは「ケーキをいっぱい食べよう!」企画をしました。おいしいものを気軽に食べに行けない状況が続いていましたので、年に1度のクリスマスにこのような企画をしました。

最近はお一人様用ケーキが充実し写真を見ているだけで幸せな気分になります。ケーキの写真から利用者さんが欲しいケーキを多い人は3個、中には15cmのホールケーキ(家族用)を選びました。

12月23日(木)サンタやトナカイの飾りのついた色とりどりのケーキ31個が東棟に届きました。(地域課の職員さんがお店からケーキを持ってきてくれました。ありがとうございます)

食堂でケーキを準備している間プレイルームでは利用者さんたちがガラスに顔をくっつけてみていました。「早く食べたーい」と……そわそわ、ワクワク!

顔にクリームをつけながら全員があっという間に完食して幸せなひと時を過ごしました。(中村)



南棟

2021年12月31日の年末は夜、娯楽室で紅白歌合戦を見ながら僕は8時にインスタントラーメンを食べながら僕は最後まで紅白歌合戦を見ました。ラーメンはとても美味しかったです。

2022年1月1日の元旦は車に乗って円座町にある「廣旗神社」に行きました。「廣旗神社」でお参りをした後に僕は獅子舞いを見ました。とても良かったです。(利用者N.A)



生活介護班

○生活介護A班

A班は1月初旬に、退園する方のお別れ会を実施しました。お別れの寂しさもありましたが、A班らしく元気に、明るい会となりました。利用者の方の笑顔を見ることができ、職員にとっても嬉しい時間となりました。(赤澤)

○生活介護B班

1月20日、『和幸』で、お弁当をテイクアウトして、B班で食べました。事前学習で、自分の好きなお弁当を各自で選びました。即決して決めた方、何回も迷いながら選んだ方、様々でした。豪華で栄養満点のお弁当に、皆大満足でした。しばらくコロナ禍で外出ができませんが、園内でも楽しめる行事を企画していきたいと思います。(桑原)

○生活介護C班

C班は、年末に水族館に外出し、忘年会をしました。水族館ではイルカショーを観覧し、水の中から大ジャンプをしたり、リングをくぐったりする姿を見ることができました。イルカの姿に釘付けの方、終始拍手をされる方、感激で涙を流す方と、それぞれの楽しみ方をされていました。(表原)



R3年度を振り返って～今年度新しくチャレンジした支援～



北棟

F Kくんは小学4年生の男の子。トイレでおしっこができたご褒美シールを貰うことがF Kくんのルーティーンであり、生活の楽しみにもなっていました。ですが、F Kくんの「シールが欲しい」という気持ちは日に日に強くなり、おしっこを無理に出そうとすることが課題となっていました。

そこで、「ご褒美シールはお手伝いができたら貰う」というルールを決めました。最初は、トイレに行ってもシールが貰えないことに納得できず、イヤイヤになることが多かったです……。しかし、何度も繰り返すことで次第に「お手伝い=シール」が定着するようになりました。今では、お洗濯や歯ブラシコップ並べなどのお手伝いに取り組み、たくさんシールを貰っています。(朝倉)



東棟

東棟は手作りおやつが基本です。今まではホットプレートでの手作りでしたが、今年は、なんと!なんと!オープンレンジを買っていただきました。

お好み焼き、ホットケーキで中の具材や添える果物でアレンジしていましたがマンネリ化している傾向がありました。

このオープンレンジのおかげで、パウンドケーキ、マフィンが簡単に作れるようになりました。パウンドケーキの型には牛乳パックを再利用しています。チョコバナナ、抹茶、チョコチップ、お芋など新しいケーキが続々と登場しています。

今後、パンやクッキー、ピザにも挑戦して「東棟の手作りおやつが進化していけたら利用者さんも楽しいだろうなあ。」と職員は頑張っています。(中村)



生活介護班

生活介護B班

今年度生活介護B班では、ご高齢の利用者さんに向けて、「ライフワークストーリー」の一環で、昔の思い出の写真や、大好きなご家族の写真など、思い出深い写真を集めて、ある利用者さん用のアルバムを作りました。そこにはご本人だけでなく、十数年前のみどり園の利用者さんや職員、親子遠足、知事慰問など様々な行事の場面が映っていました。それらの写真を手にした利用者さんだけでなく、周りの利用者さんもそのアルバムに興味を示されて、皆さん目をキラキラ☆。「私も見せて!」と、大人気のアイテムになりました。B班では、発語がない方や言葉が不明瞭な方向けに、カタログや写真集、アイドル雑誌など、余暇時間のアイテムも少しずつ増やしています。ちょっとした時間を楽しく過ごせるように、今後も視覚支援や、その導入の仕方、ライフワークストーリーの進化版など、新たに考えて実践していきたいと思います。(桑原)

西棟

今年度、西棟では『おかたづけ＆褒める支援』にチャレンジしました。

今まで、余暇で破った新聞の片づけは職員がしていました。しかし、試しに「一緒におかたづけをしよう!」と誘ってみると、あれあれ、できました!上手に新聞をゴミ箱に入れていきます。「すごい!」「きれいになって気持ちがいいよ!」「ありがとう!」と、みんなで拍手! 本人も照れながらとっても嬉しそうです。そのうちに『お茶を飲んだらコップをしまう』、『脱いだ服はカゴに入れる』等、自分でできるお片付けが増えてきました。

職員は、児童ひとりひとりの、いい所やできたことを見つけて、一緒に喜ぶ支援を心がけています。皆さんも、自分を褒める時間、作ってみませんか♪(高田)

南棟

南棟で新しく取り組んだのは、テイクアウトの充実です。コロナ禍2年目を迎え、自由な外出が難しくなり単調になってしまう生活に悩んでいました。そのため、職員がいろいろなお店を回りテイクアウトのメニューを集め、外出や昼食の際にテイクアウトして食事を楽しめるようにしました。一冊の冊子にまとめ、行きたいお店を選んだり、メニューを選んだり、眺めて楽しんだり、今年度いろんな場面で活躍しました。写真は夏にお弁当を購入して昼食に食べたときのものです。メニューを見て選んでもらったのですがとても楽しかったようです。こんな時だからこぞできる小さな楽しみを大切にしていきたいと思っています。



(福本)